

前回会議のふりかえり

協議内容

「アンケート結果について」

- ・ コロナ禍によって、前回調査から価値観や社会変化があったと思うが、そういったところを分析に入れてほしい。例えば、IT化の進展などがあるのではないかな。
- ・ 「何かを学びたいと思わない」が前回調査時と比較して、倍近く増加しており、この結果に至った原因を考えなければならない。
- ・ 学習形態にて「職場の研修」の回答割合が、前回調査から倍増していて、リカレント教育が浸透してきたのではないかな。
- ・ オンラインの充実が意外と増加しておらず、リアルとバーチャルのどちらも求められているのではないかな。オンライン化だけでなく、リアルの学びの場の充実も取り組みが必要だ。
- ・ 4～50代は「生涯学習をしなかった」と回答した割合が比較的高く、その理由が「仕事が忙しかった」と読み取れるが、一方で、リカレント教育に興味がある層も同じ世代で、こうした層にオンデマンド学習のニーズがあるのではないかな。
- ・ オンライン等の通信教育は脱落者も多く、個人任せの難しさはあるが、学びの間口は広がった。学びを継続するための工夫が必要なのではないかな。
- ・ 年代別の回答割合のほか、柏市全体の人口割合との比較がみたい。
- ・ 市が取り組むべきこととして、「講座内容の充実」は前回から半減しており、市として講座をやってほしいというより、情報発信・整理が求められているのではないかな。

協議内容

「次期柏市生涯学習推進計画の骨子案について」

----- 柏市が目指す生涯学習像について -----

- ・メインタイトルが抽象的すぎるので，生涯学習としては，サブタイトルのほうが明確ではないか。
- ・タイトルが福祉的に感じるので，学びを最初に持ってきた方がよいのではないか。
- ・若い層へのアピールに，このメインタイトルでよいのか。
- ・年代別の学びのニーズがあるが，知の交流といったものがタイトルにふくまれるとよいのではないか。
- ・サブタイトルに年代別テーマをいれるとよいのではないか。
- ・「少子高齢化」という言葉に圧を感じるので，「多様な人々が暮らす柏において」といった表現にしてはどうか。

----- 4つの取組方針について -----

- ・10代の子どもたちが地域で出会って，学びにつながる機会が必要だと感じる。
- ・学校教育との連携の仕方の中に，生きていくための学び，といった視点を入れてはどうか。
- ・きっかけと情報提供はとても大切である。
- ・情報提供に関して，学校現場は電子配信になっているが，保護者が取捨選択しており，子供に届いていないのではないか。紙媒体とのハイブリットでやらざるを得ないのではないか。
- ・「ウェルビーイングの実現（豊かな生活）」があるが，これをサブタイトルにいれるとよいのではないか。
- ・生涯学習については，生涯を通しての人的成長に資すること，そこから個人と地域におけるウェルビーイングの実現につなげる。
- ・子供から大人までライフステージに応じた学習のあり方や，民間との連携の強化，オンラインと対面型それぞれの利点を生かした多様な学習機会の確保，また，生涯を通じた学習の基礎となる「主体的な学び」が学校教育で重要視されているが，学校教育における対話教育・体験学習でその姿勢を育み，生涯学習につなげることが全体につながるのではないか。